

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(3/8)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
尾道地域医療連携推進特区(広島県)	正	A 4.7	B 4.3 進捗度 ・JA尾道総合病院における平均在院日数の縮減98% ・JA尾道総合病院における患者紹介率の向上123% 等	B 3.9 財政支援等 ・健康情報活用基盤構築事業(ICT整備) 地域独自の取組 ・ICTを活用した在宅医療等支援モデル事業(遠隔診療・遠隔服薬指導モデル)等	+0.6	<p>・目標が明確で、着実に進行(※1)している。高く評価できる。</p> <p>・特区の特典を活用して基幹病院にICT基盤を設置(※2)し、関連サービス機関と着実にネットワークを広げている(※3)。今後も更なる成果が期待できる。</p> <p>※1: ・JA尾道総合病院における平均在院日数の縮減(H24年度目標)12日以下、(実績)12.3日、進捗度98% ・JA尾道総合病院における患者紹介率の向上(H24年度目標)64.8%より向上、(実績)79.9%、進捗度123% ・JA尾道総合病院における患者逆紹介率の向上(H24年度目標)80.6%より向上、(実績)74.8%、進捗度93%</p> <p>※2: 総合特区調整費を活用して、総務省「健康情報活用基盤構築事業」により整備。H23年度補助額143百万円</p> <p>※3: H24年度末におけるネットワーク参加医療機関数は130施設(H23年度70施設)。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。